

平成15年度事務事業評価表

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
事業コード		事務事業名	スポーツ教室開催事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション

②事務事業の内容

対象(受益者)	ゆとりを持ってスポーツを親しむ親子のために
手段	夏休みを利用してスポーツ教室を開催することにより
想定する成果	親子間の交流とスポーツの技術向上を図る。

③事業の概要 (参加者数)

項目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
親子水泳教室	55人	55人	51人
すもう教室	15人	21人	18人
バドミントン教室	35人	68人	36人
ソフトテニス教室	34人	37人	41人
計	139人	181人	146

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	スポーツ教室参加者増減率 現年度参加者数/前年度参加者数×100	スポーツ教室参加率 参加者数/定員×100

⑤事業の進捗状況 (一般 会計)

		(千円)		
1		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標	計画	—	—	80.7%
	① 実績	ソフトテニス教室はH14年度から開催	130.2%	—
成果指標	計画	—	—	76.8%
	② 実績	61.8%	95.3%	—
事業費	事業費	672	743	629
	人件費	826	812	835
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	1,498	1,555	1,464
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	182	229	181
	一般財源	1,316	1,326	1,283

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	各教室とも8～10回実施するため、基本のマスターができるようになる
経済効率性	2	2	市が主催する教室のため、営利目的のスポーツクラブより参加費が安い。また、消耗品等の値上りにより経費は増大している
事務効率性	2	2	体育課職員3人の輪番制で担当しているため、臨時に応用できる体制である。
必要性	2	2	夏休みを有効利用するために必要である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	人気の高い教室は、受付初日で定員オーバーになるなど、市民によく知られている。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	夏休み期間中に親子、友達が各教室を通じて交流、友好を深めるのに有効である。
------	---	---	---------------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成15年度から親子水泳教室の定員100名→70名に、すもう教室の定員を25名→20名に減らすなど各教室の募集人員の適正化を図った。

⑧今後改善すべき点

各教室の生徒の出席率を高めるために、基本練習と同時に試合を取り入れるなど教室の内容を考慮する。

⑨平成17年度予算に反映する項目

テニスボール等を協会より借りている事業を実施している状態なので、せめて予算は据え置きをお願いしたい。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
事業コード		事務事業名	公園グラウンド施設整備事業	
根拠法令等	蒲郡市公園グラウンドの設置及び管理に関する条例	A法令	B <u>条例</u>	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション

②事務事業の内容

対象（受益者）	陸上競技及び野球競技を利用したい市民のために
手 段	整備された施設を提供することによって
想定する成果	体育・スポーツの普及振興と体力の増強を図ることができる。

③事業の概要 公園グラウンド利用者

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
野球場関連工事費	10,622千円	7,990千円	— 千円
陸上競技場 関連工事費	24,796千円	3,330千円	— 千円
管理委託料	12,014千円	11,723千円	11,603千円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	利用日1日当りの野球場利用者数	利用日1日当りの陸上競技場利用者数
成果指標の説明	野球場利用者数/野球場利用日数	陸上競技場利用者数/陸上競技場利用日数

⑤事業の進捗状況

（一般 会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
1	計画	—	—	113人
	実績	80人	88人	—
成果指標 ②	計画	—	—	173人
	実績	210人	204人	—
事業費	事業費	53,008	28,775	16,741
	人件費	3,305	3,247	3,341
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	56,313	32,022	20,082
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	56,313	32,022	20,082

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	体育、スポーツの普及振興に貢献し、ほぼ目標どおり進捗している。
経済効率性	2	2	管理業務を委託して行っているためコストが低い。
事務効率性	2	2	申請受付事務は全職員で効率的に行い、維持管理は委託して成果をあげている。
必要性	2	2	市民の健康増進を図るため必要である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	いつでも誰でもが利用できる施設として利用者の増加を図りたい。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	施設の整備を行い、効率性を高め、利用者の増加を図る必要がある。
------	---	---	---------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

夏休み等に市内の宿泊施設を利用するの長期連続利用の固定化を図るため、PRの方策を考えていく。
--

⑨平成17年度予算に反映する項目

効率のよい運営管理のため、指定管理者制度を含め検討していく。

⑩組織、人員に関する提言

施設が老朽化しているため、改修予算が必要になる。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
事業コード		事務事業名	ITUトライアスロン・ワールドカップ事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション

②事務事業の内容

対象（受益者）	感動溢れるスポーツイベントの観戦を願望する市民のために
手段	世界中の一流選手が参加するトライアスロン競技の開催によって
想定する成果	スポーツの媒体による国際交流が図れる。

③事業の概要

項目	平成14年度実績		平成15年度実績		平成16年度計画	
競技参加者数	男子 55人	女子 41人	男子 37人	女子 39人	男子 33人	女子 21人
ボランティア参加者数	145人		148人		250人	
観戦者数	22,000人		22,000人		35,000人	

④成果指標

	①	②
成果指標名	トライアスロン観戦参加率	ボランティア参加率
成果指標の説明	現年度参加者数/前年度参加者数×100	ボランティア参加者数/蒲都市人口×100

⑤事業の進捗状況

（モーターボート競走事業特別会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標1	計画	—	—	71.1%
	実績	152.4%	79.2%	—
成果指標②	計画	—	—	—
	実績	0.18%	0.18%	0.3%
事業費	事業費	21,800	20,000	20,000
	人件費	6,610	6,494	6,682
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	28,410	26,494	26,682
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	28,410	26,494	26,682

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	超一流の選手によるレースは目標どおり進捗している。
経済効率性	2	2	選手、役員、観客等が地元にとす滞在費とTV放映による蒲郡市の紹介は予算に見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	組織委員会形式で事業を運営している。
必要性	3	3	競技内容、運営資金面からいって市が協力して行う事業である。他の開催地も市が主体となり、大きくかかわっている。
小計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	2	2	ボランティアや観戦にかなりの市民が参加している
合計	12 /15 満点中	12 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	世界の有名都市で年間12戦前後と数少ないレースが蒲郡市で開催される評価は高い。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

トライアスロン競技を身近なものにするため、平成14年度から2校の小学生と選手の交流会を行い、底辺の拡大を図った。

⑧今後改善すべき点

交通規制による障害を極力少なくするため、早期事前説明による周知徹底を図る。

⑨平成17年度予算に反映する項目

バイク競技において、急勾配が求められ、新たなコースが必要となった為、建設費の新予算が必要。

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
事業コード		事務事業名	ラジオ体操連盟活動事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民のために
手 段	講習会、ラジオ体操の集い、体操発表会等を開催することにより
想定する成果	毎朝のラジオ体操を習慣にしてもらい、健康の維持を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
講習会参加者	4回 660人	5回 750人	5回 4,000人
ラジオ体操の集い参加者	1回 200人	1回 200人	1回 200人
体操発表会参加者	1回 37人	1回 35人	1回 40人

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	ラジオ体操参加者増減率	ラジオ体操参加率
成果指標の説明	現年度参加者数/前年度参加者数×100	参加者数/定員×100

⑤事業の進捗状況

		(一般 会計)		
		(千円)		
		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標	計画	—	—	430.5%
	1 実績	102.2%	109.8%	—
成果指標	計画	—	—	137.2%
	② 実績	92.5%	101.5%	—
事業費	事業費	40	83	69
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,693	1,706	1,740
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,693	1,706	1,740

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	年間を通じて講習会、ラジオ体操の集い、体操発表会等活動している。
経済効率性	1	1	ラジオ体操連盟の予算はないので、行事は全部市費の負担になる。
事務効率性	2	2	年に2回連盟役員会を開き、事務局と事業計画等を協議し、事業を推進している。
必要性	2	2	地区住人のラジオ体操普及に積極的に活動している。
小計	7 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	2	2	
合計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	指導者講習会、普及講習会、体操発表会、地区住民の早朝ラジオ体操会の指導等ラジオ体操の普及に積極的に活動している。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成14年度から蒲郡市民憲章推進協議会記念事業に協力して各地区のラジオ体操の集いにラジオ体操連盟役員を指導者として派遣した。

⑧今後改善すべき点

指導者の高齢化が進んでいるので、指導者講習会を積極的に開催し、若手指導者の育成に取り組む。

⑨平成17年度予算に反映する項目

各地区の公民館高齢者教室に連盟役員を講師として派遣し、ラジオ体操と親しむ機会を設ける。

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	教育委員会	体育課	内線等	3404
事業コード		事務事業名	学校体育施設開放事業	
根拠法令等	浦郡市立学校体育施設の開放に関する規則	A法令	B条例	C規則
		Dその他	Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	スポーツ・レクリエーション

②事務事業の内容

対象（受益者）	地区のスポーツ交流及びスポーツグループ団体のために
手 段	スポーツ活動の場の提供を図ることにより
想定する成果	市民の体力向上と健康増進を図る

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
学校開放箇所数	20校	21校	21校
年間延利用回数	4,589回	4,917回	5,339回
延利用人数	121,302人	120,854人	121,100人

④成果指標

	①	②
成果指標名	1校当り学校開放年間平均実施回数	学校開放1回当たり利用者数
成果指標の説明	年間延利用校数÷学校開放箇所数 234回	延利用人数÷年間延利用校数 25人

⑤事業の進捗状況（一般 会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 1	計画	—	—	254回
	実績	229回	234回	—
成果指標 ②	計画	—	—	23人
	実績	26人	25人	—
事業費	事業費	8,488	9,314	8,921
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	10,141	10,937	10,592
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	10,141	10,937	10,592

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	体育・スポーツを楽しむ利用団体が増加している。
経済効率性	2	2	管理指導員に対する謝金の見直しが必要である。
事務効率性	2	2	開放の利用回数により謝金が変わるので、毎月の算出に手間がかかる。
必要性	2	2	学校教育施設のため、市の関与が必要である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	開放の予定回数をオーバーするほど、施設の利用頻度は高い。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	各施設での利用頻度は高く、市民健康増進のため必要な事業である。
------	---	---	---------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

耐久性に強く、安価な部品等を取り入れて修繕した。

⑧今後改善すべき点

他市の現状を調査し、管理方法を検討する必要がある。

⑨平成17年度予算に反映する項目

利用上損傷した施設の補修費。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載